

No. 14 獅子島架橋はみんなの願い インタビュー

島の高齢者を守りたい

御所ノ浦は限界集落です。高齢者が多く、すぐに搬送できれば助けられる命を助けられないのではないかと考えます。橋があれば獅子島にも救急車が来れます。公民館長という職に就いて、高齢者を助けるために橋を架けてほしいという気持ちが強くなりました。獅子島架橋は私の念願です。

◇日常生活での問題点は 漁業、農業と鉄工所を営んでいます。鉄工所の仕事で島外へ資材を運ぶと、運搬費を費用に上乗せしなければなりません。また、島外からの仕事の依頼にすぐに対応できず、お客さまを待たせてしまうことになりました。

◇獅子島架橋への思いは



御所ノ浦自治公民館長
坂口 澄夫さん (55)

わがまちの景観づくし

つわぶきを探しています

町が進めている「ぐるっと一周フラワーロード事業」の一環として、沿道に「つわぶき」の植栽を計画しています。

つわぶきは、昔から道ばたや山林に多く自生しています。秋から冬にかけて黄色いかわいい花を咲かせ、春先には食用として人々に親しまれています。

そこで、植栽用として葉っぱが大きい品種のつわぶきを探しています。自分で掘って提供していたらどうか、自生場所などの



内線 1266

TEL (86) 1111

役場事業推進課 景観係

情報が提供してください。
◎連絡先◎



町長に受章を報告した余宮さん

余宮さんが緑十字銀章を受章

山中の余宮安之さんが1月16日に東京で行われた「第46回交通安全全国民運動中央大会」で交通安全賞緑十字銀章を受章。20日、役場町長室で川添健町長に受章を報告しました。

余宮さんは、阿久根地区交通安全協会東支部長などを歴任し、同協会員として長年、交通安全活動に尽力されました。奥さんのサエ子さんにも、内助の功として感謝状が贈られました。

表彰された余宮さんは「夢であった章をもらえてうれしい。交通安全協会や警察、行政のバックアップがあったおかげ」と喜んでいました。